

しめんことを。四海一家、永く往来を通ぜしむれば誠に便益と爲すに庶ちかからん。今、奉獻の礼物を將て開坐し移咨す。施行せよ。須らく咨に至るべき者なり。

今開います

官段五匹 青段二十四

腰刀五把 摺紙扇三十把

大青盤二十個 小青盤四百個

小碗二千個 硫黄二千五百斤

右、暹羅國に咨す

宣徳八年（一四三三）九月十八日

礼儀の事

通事梁徳伸

咨

1-40-15

琉球国中山王より暹羅國あて、益沙每等を遣わして自由な交易を請う咨（一四三三、九、一八）

琉球国中山王、進貢の事の為にす。

照得するに、本国は貢物稀少なり。此の為に今、正使益沙每等を遣わし、勇字号海船一隻に坐駕し、磁器等の物を装載し、貴国の出産の地面に前倒して胡椒・蘇木等の貨を収買せしむ。回国し

て謹んで大明の御前に進貢するに備う。仍お礼物を備えて詣前して奉獻し、少しく遠意を伸ぶ。幸希こいねがわくは海納せよ。更に煩わづわくは今、差つかわす人船の自ら買売を行うを寛容し、早すみやかに風に趁のりて回国せしめんことを。今、奉獻の礼物を將て開坐し移咨す。施行せよ。須らく咨に至るべき者なり。

今開います

官段五匹 青段二十四

腰刀五把 摺紙扇三十把

大青盤二十個 小碗二千個

小盤四百個 硫黄二千五百斤

右、暹羅國に咨す

宣徳八年（一四三三）九月十八日

通事鄭智を差わす

1-40-16

琉球国中山王より暹羅國あて、阿蒲察都等を遣わして公正な交易を請う咨（一四三三、一〇、三）

琉球国中山王、礼儀の事の為にす。

今、正使阿蒲察都等を遣わし、礼物を齎送し、貴国に前詣して奉獻せしめて以て微忱を表す。切に領納りやうなつを希ねがう。及び照らすに、